

第四章 豚の購入

私は個人的には豚をブリーダーのオークションで買うよりも、個人売買で買う方が好きです。オークションで売りに出ている豚は、ショーで勝てる可能性と健康状態について徹底的に調べなければなりません。購入した豚は簡単に熱を出してしまいます。また、オークションで買うときには他の購買者との競り合いやその場の盛り上がりで多くの人が予定よりも高値で買ってしまふこととなります(私も!)。しかし、私はオークションでの高値での落札に警鐘を鳴らしてきましたが、私が育てた豚のなかで最高クラスになったもののうち、何頭かはオークションで手に入れたものだということも事実です。

買う豚を決定する前に売り手、もしくはその担当の獣医師と話し合い、その子豚と子豚が育った農場全体の健康状態について確認しなければなりません。どういう質問をすればいいか、あなたの獣医師に相談するのが一番です。さらに理想的なことを言えば、あなたの獣医師に向こうの農場担当の獣医師と農場の衛生について話し合ってもらいましょう。

病気の問題があると必ずしも子豚の購入をやめなければならないというわけではありません。病気に関する情報が売主側の獣医師からもらえれば、あなたは獣医師と相談して豚を持ち込む前に衛生対策を取ることができます。また、このような対策について検討することは、何度も再発する病気に対するワクチンプログラムの完成にもつながるでしょう。第八章と第九章ではプログラムを完成させる上での健康管理のコツをたくさん記載しています。

保証

買う豚について心配なポイントをいろいろ質問するのは当たり前の必要な事です。しつこいくらい跛行や下痢、去勢後の慢性的な障害の有無について質問しましょう。ほとんどのオーナーは去勢が原因になっている問題を、後になって硬いしこりが見つかるまでは気付きません。このしこりは精巢の膜が去勢の時に外に残されたときに起こり、傷跡につながった組織がふくれたものです。

一般的な健康問題に関して、ほとんどのブリーダーは14~30日の健康保障をつけています。豚を新しい設備に移動した後で下痢や跛行が見つかるというのは珍しい事ではありません。

もしその豚が他の州から高値で購入したものだったら、生命保険をかけたいと思うかもしれません。注意する点は、この保険料は買った豚の値段だけでなく、購入までの移動距離や時間も査定の対象になります。30日間の生命保険ならかなり安く入る事ができます。

購入価格の目安

選んだ豚の購入価格はあなたの育成計画の目的によって変わります。豚を育成する目的がお金を稼ぐためだったら、値段はその時の豚の相場と同じくらいでなくてはなりません。目的がショーでいいところまで行くこと、優勝を狙うという事だと相場の4~10倍かかるかもしれません。**第3章の言葉と重複しますが『高い子豚を買ったからといって、ショーで勝てるとは限りません』。**

一般の市場で取引されている子豚の中からショーに使う子豚を選ぶのが最も安上がりな方法です。これなら一般に取引される豚の価格に10~30ドル上乗せした価格で購入できます。しかしながら、純粋種の場合はこの方法ではあまり買いません。純粋種だと市場価格より100~200ドルも高くなります。

初めて参加するオークションや、初めて訪問する農場から豚を購入するのはお勧めしません。(注意事項:初めて農場を訪問する場合は前もってその農場の防疫プログラムを確認しなければなりません。農場のオーナーや場長に挨拶する前に、農場の周りをうろうろしたりしてはいけません。)購入の決断をする前に、何ヶ所かは農場や市場を見ておきましょう。売り手と価格交渉する時には、高く払いきれないように3、4頭の候補を選びましょう。市場で購入する場合は豚を事前に良くチェックできるように、人が増える前になるべく早く会場に入るようにします。市場が始まる前なら、係りの人に豚の見方を教えてもらったり質問したりもできます。生産者も豚の選び方のコツや値段も教えてくれるかもしれません。事前に値段を知っておけば驚く事もないでしょう。また、あなたの要望にぴったりの豚を教えてもらえるかもしれません。

繰り返しになりますが、豚を個人間で買うのは良い方法です。生産者は豚の選び方をアドバイスしてくれるでしょう。また、先に予算を教えておけばその金額の中で最も良い豚を選んでくれるでしょう。しぐさや口先だけの事であっても、生産者にお金に糸目はつけないなどという間違った態度は取らない事です。

売る方としては次の年の売上に影響するので、あなたがショーで活躍してくれる事を望んでいます。あなたがショーで良い結果を出せば、他の参加者はあなたがどこから豚を買ったのか気にするでしょう。豚が結果を出せばそれがブリーダーとしての評判につながり、その後のビジネスに役立ちます。

親切的なブリーダーなら、夏の間にあなたの豚の様子を見に来て、豚がベストな状態になるようにアドバイスをくれたり手助けしたりしてくれるでしょう。彼らはショーの重要なサポーターである場合もあります。ブリーダーの農場で豚を選ぶとき、同じ掛け合わせのより大きく成長した豚が見られれば、その豚の成長した姿が想像しやすくなります。また、その子豚の母豚や種雄豚も同時に見られることもあります。